

## 世界経済における成長と責任（抄）

（サミット首脳宣言）

（仮訳）

### 気候変動とエネルギー効率及びエネルギー安全保障： 世界経済にとっての挑戦と機会

#### エネルギー効率

##### 持続可能な建物

67. 建物を効率的にする機会は大い。2007年4月にベルリンで行われたエネルギー効率に関するEU/G8会議に基づき、我々は以下の措置を講ずる。

- ・ G8による「持続可能な建物ネットワーク」を設立し、主要新興経済国の参加に対しても門戸を開く。このネットワークは、新築及び既存の建物の異なる状況及び低炭素・ゼロ炭素の建物の開発と展開を十分考慮しつつ、特に冷暖房における再生可能エネルギーの利用と建物におけるエネルギー効率の実施について評価、助言する実際的な手法を発展させるものである。
- ・ IEAに対して、このネットワーク創設にあたり中心的役割を果たすよう呼びかける。
- ・ 建物分野において、エネルギー効率を向上し、この分野における再生可能エネルギー利用の相当な拡大を達成するべく作業する。このために、我々は、国が決定した持続可能な建物に関する目標の役割及びそれらの目標がエネルギー効率にとって有する重要性を中長期的に検討する。我々は、市場メカニズム、推進措置と枠組み立法を活用することにより、また、低・ゼロエネルギー建物に向けての官民連携イニシアティブを通じ、エネルギー効率の高い技術と再生可能エネルギーの利用を積極的に支援する。このための手段には、再生可能エネルギーも考慮に入れた、新築、改修、あるいは住宅設備に対する個別のエネルギー基準やエネルギー・パフォーマンス認証（「ビルディング・パスポート」）といった消費者情報が含まれる。

## 運輸

68. 今日、世界中に6億台の自動車が存在し、2020年までにこの数は2倍になると予測されている。これを踏まえ、我々は以下の措置を講ずる。

- ・ 運輸分野におけるエネルギー効率を高めるため作業する。このため、我々は、我々の政府に対し、特に、革新的なエンジン・コンセプト、代替燃料、都市計画措置、公共輸送、輸送方法の最善の連結可能性を含む、運輸分野における二酸化炭素排出及びエネルギー需要を明確に削減でき、代替燃料とエネルギー媒体（バイオ燃料、水素、LPG/CNG、電気、ハイブリッド等）の全燃料消費に占める割合を増加する数多くの措置と様々な手段を育成するよう求める。
- ・ 例えば、合成及びセルロースのバイオ燃料、特に燃料電池との組み合わせにおいて、二酸化炭素を排出しない水素、といった燃料の多様化は、第二世代のバイオ燃料の技術が商業的に利用可能となれば、輸送の二酸化炭素排出削減において決定的となろう。
- ・ 最適な相互運用性と排出特性に到達するため、様々な供給原料からの国際的なバイオ燃料の品質基準の開発に関する調整を強化する。
- ・ 特に開発途上国において、異なる土地使用形態の競合を防止し、バイオマス栽培の持続可能性を促進するため、バイオ燃料開発の負の副作用の可能性を回避する。我々は、国際バイオ・エネルギー・パートナーシップ（GBEP）に対し、バイオ燃料のベスト・プラクティスにつき作業を継続し、バイオ・エネルギーの成功裡かつ持続可能な開発を推進するよう呼びかける。
- ・ 必要な措置の実施を監視し、2年毎の「環境に優しい自動車会議」にて進捗を議論する。その結果はG8首脳へ報告される。
- ・ 白物家電製品に既に導入されているような形で、新車に対してエネルギー効率ラベルを導入する。